



南条つ子

南条つ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

かっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条小学校だより

R1.9.6 No. 43



○ 4年生 ボランティアスクール

9月3日(火)に、社会福祉協議会の方、ボランティアスタッフの方、計11名をお迎えしてボランティアスクールを行いました。

2人1組になって、1人が体験、もう1人が介助や見守りをし、交代をしながら「視覚障がい者・高齢者体験(目が見えず、片足が不自由な体験)」と「車椅子体験」を行いました。

この体験を通して子どもたちは、相手の立場に立つことの大切さ・重要性を再認識するとともに、障がいに対する理解を深めたようです。



【疑似体験】 現実似せた状況に身を置き、現実起こるであろう感覚を体験すること。

高齢者や障がいのある人の不便さや困っていることについての知識を得ることは、とても大切です。また、疑似体験をすると、高齢者や障がいのある人のニーズを、頭ではなく身体で理解することができます。

疑似体験には、高齢者体験や車椅子体験、アイマスクをつけて白い杖を持つ視覚障がい者の体験、耳せんをしてその上からヘッドホンをして音が入ってこないようにする聴覚障がい者の体験、お腹におもりをつける妊婦体験などがあります。

高齢者体験では、特殊なゴーグルをつけて白内障の人の見え方を体験したり、ひざサポーターや足首用おもりをつけて歩きにくさや段差の越えにくさを体験したりすることができます。車いす体験では、段差や通路の狭さ、高すぎるカウンターなど、普段の生活の中では気づきにくい多くの不便さや問題点があることがわかります。目の前に立つ人がいると威圧感を感じますし、視界がさえぎられてしまうこともわかるのです。

疑似体験を行う場合に気を付けたいことは、あくまで限られた短い時間の疑似体験ですから、こうした体験だけで高齢者や障がいのある人のニーズを完全に理解したつもりにならないことが大切です。



○ 1、2、3年生 お話の会

9月5日(木)、2学期最初の「お話の会」を行いました。今回は、1~3年対象で、ブックマザーの話を、どの児童も真剣に集中して聞いていました。ブックマのみなさん、2学期もよろしくお願いいたします。



1年1組

『まないたにりょうりをあげないこと』



文・絵:シゲタ サヤカ
出版社:講談社



1年2組

『いいからいいから』



文・絵:長谷川 義史
出版社:絵本館



2年1組

『ピカノの絵本』



文・絵:結城 昌子
出版社:小学館



2年2組

『つきをあらいに』

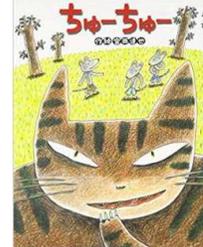


文:高木 さんご
絵:黒井 健
出版社:ひかりのくに



3年1・2組合同

『ちゅーちゅー』



文・絵:宮西 達也
出版社:鈴木出版



【ボランティアの人からの感想・意見】

- ・みんな良い表情で楽しく聴いてくれました
- ・ゆっくり読んだので、1ページごと、じっくり聴いてくれました。
- ・たのしく読ませてもらいました。
- ・静かに聴いてくれました。
- ・みんな集中して静かに聴いていました。読み終わった後に、ちゅーちゅーって繰り返してました。



○ 夏休み作品展開催中

開催日も残すところ、9日(月)、10日(火)の2日間になりました。

これまでに見に来られた方もいらっしゃいますが、まだご覧になっていない保護者の方は、ぜひ見に来てください。(職員玄関からお入りください。)

